

WEBAPP勉強会 第4回目 解説

- WEBAPP勉強会 第4回目 解説
 - メッセージボックス実装
 - `this.$???について`
 - `then ~ catch ~ について`
 - メッセージを起動する部分の実装
 - 暫定の削除処理を実装
 - `idを指定してデータを削除する処理を実装`
 - `削除処理を呼び出す部分を実装`
-

メッセージボックス実装

削除確認のためのメッセージボックスを実装します。

参考URL : <https://element.eleme.io/#/en-US/component/message-box#confirm>

上記を元に選択行の削除確認を行うメッセージボックスを`methods: {}`内に実装します。

```
confirmDelete() {  
  const row = this.tableData[this.rowNumber]  
  const target = `${row.id}:${row.title}`  
  const msg = `${target} を削除します。削除後は元に戻せませんが、実行してよろしいですか?`  
  this.$confirm(msg, 'Warning', {  
    confirmButtonText: '削除する',  
    cancelButtonText: 'やめる',  
    type: 'warning'  
  })  
  .then(() => {  
    // ToDo: 削除処理を起動  
    this.$message({  
      type: 'success',  
      message: `${target} : 削除が成功しました。`,  
      showClose: true,  
      duration: 5000  
    })  
  })  
  .catch(() => {  
    this.$message({  
      type: 'info',  
      message: '削除を中止しました。'  
    })  
  })  
}
```

`this.$???について`

thisとは？ 現在のVueインスタンスを表します。

data(){ } 内で定義した変数・オブジェクトについてアクセスする際には **今のインスタンスの** という意味で this を付けます。

では、\$confirmや\$messageはどういった意味があるのでしょうか？

これらは、plugin/element-ui.js でVueインスタンスに組み込まれた関数を使う際にthis.\$???でコールします。

※もちろんVueに組み込み済みの例えば\$routeや\$storeなどもあります。

例えば、アプリケーションで共通の確認ダイアログを作成したい場合、上記のようなコードを書いたJavaScriptファイルをpluginフォルダに配置し、各ページからは、`this.$confirmDelete()` として呼び出すことで部品化し、開発効率化を図ります。

then ~ catch ~ について

confirmの仕様として、ボタンをクリックした後処理を分岐できるようになっています。

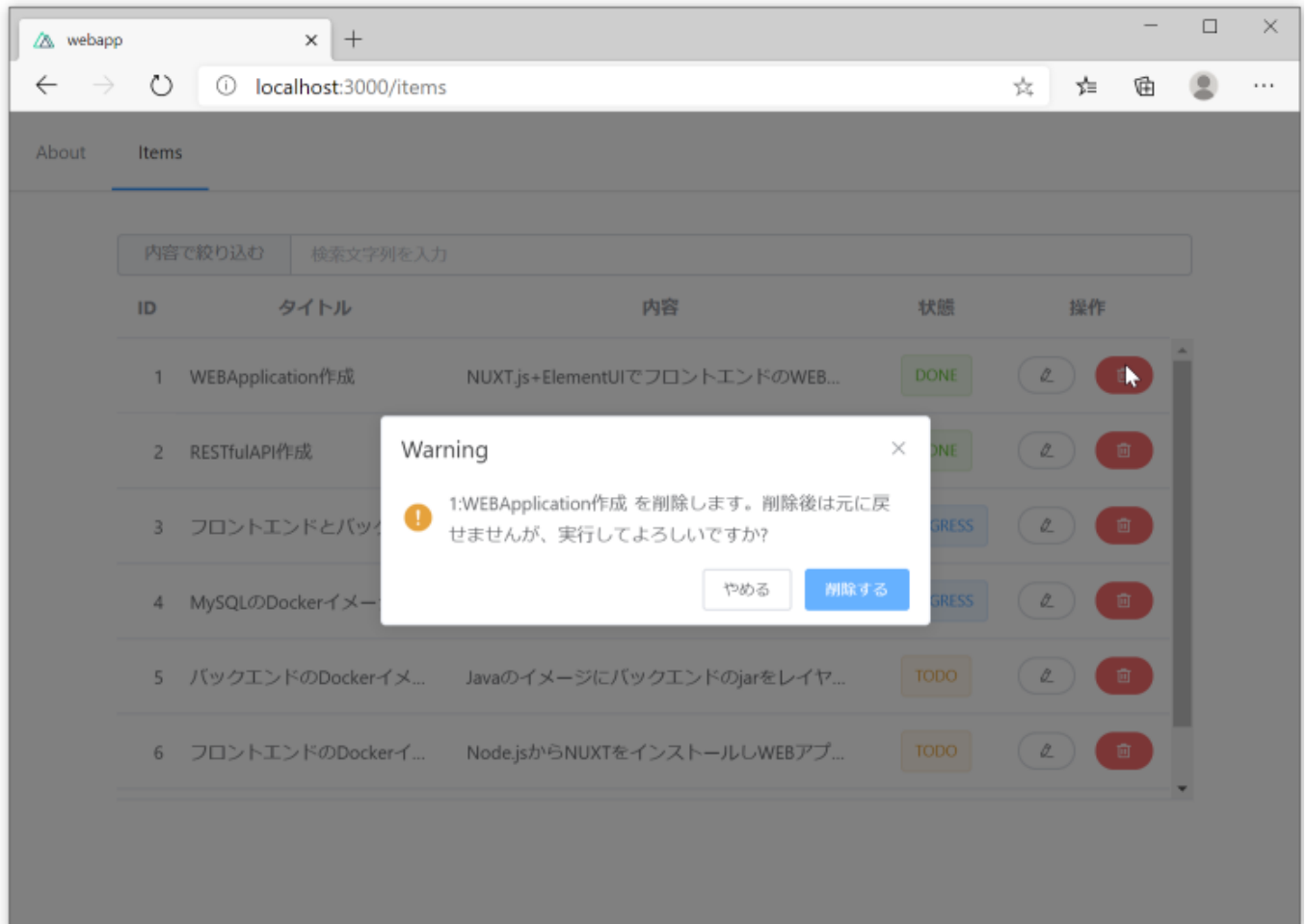
```
this.$confirm(...).then( confirm時の処理 ).catch( cancel時の処理 )
```

メッセージを起動する部分の実装

削除処理(`handleDelete`)の際にメッセージボックスを起動するよう修正します。

```
handleDelete(index, row) {  
  this.rowNumber = index  
  this.confirmDelete()  
},
```

削除ボタンクリック後、下図のようなメッセージボックスが表示されます。



暫定の削除処理を実装

idを指定してデータを削除する処理を実装

将来はREST APIをコールするように変更しますが、暫定的にオンメモリのデータを削除する処理 (`deleteItem`)を `methods: {}` 内に作成します。

```
deleteItem(id) {  
  // ToDo: REST API削除処理呼び出し  
  // Dummy delete  
  this.tableData = this.tableData.filter((data) => data.id !== id)  
},
```

上記では、引数のidに一致しない要素で新たに配列を作り、tableDataにセットしています。

削除処理を呼び出す部分を実装

先ほど実装した `confirmDelete()` のコメント部分を、`deleteItem` をコールするよう変更します。

```
.then(() => {  
  this.deleteItem(row.id)  
  this.$message({
```

```
    type: 'success',  
    message: `${target} : 削除が成功しました。`,  
    showClose: true,  
    duration: 5000  
  })  
})
```

確認ダイアログの「削除する」ボタンをクリックすると、一覧表からデータは削除されるようになりましたか？